

目次

□巻頭言 コストダウンと機械の改良 諏訪 貞雄 / 1
 東京都海上公園計画の概要 樋渡 達也 / 3
 東京湾横断海底ガス導管建設の概要 保坂 尚 / 9
 営団地下鉄 11 号線渋谷～蛸殻町の建設現況 塚田 章恒 / 15
 都営地下鉄 10 号線浜町工区の建設概要 宮崎 恒男 / 23
 池袋超高層ビルの揚重施工機械 稲木 昂 / 28

グラビヤ—池袋超高層ビルの建設

首都高速東京港トンネルの管理施設の概要 小沢 秀夫 / 35
 首都高速道路の舗装打換工法の現状 菊地 真琴 / 42
 上越新幹線大清水トンネル万太郎谷工区の施工 小田 重雄 / 49
 隅田川新大橋の特殊施工 平野 嘉菊 / 54
 □随想 砂漠と水漠の国 小栗 良知 / 60
 □部会報告 公害対策基礎ぐい工法の現状 施工技術部会 / 63
 □新機種ニュース 調査部会 / 69
 □整備技術
 これからは建設機械の整備に
 システムのアプローチが必要である 整備技術部会 / 73
 □ISO 規格紹介
 建設機械の安全性の必要条件
 および居住性に関する ISO 標準規格(1) ISO 部会 / 75
 □統計
 建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
 調査部会 / 77
 行事一覧 / 78
 編集後記 (鈴木貫・寺沢) / 80

◀表紙写真説明▶

ロードヘッダ MRH-S 125 型

株式会社 三井三池製作所

従来のロードヘッダ (MRH-S 45 型および S 90 型) が比較的軟岩のトンネル掘削向けであったのに対して、本機は中硬岩の掘削機として新たに開発された機種である。各部の強化改良、機能アップを計ると共に、切削時の安定性を向上させたため中硬岩の掘削に十分対応が可能である。また、発破工法が引き起す振動、騒音公害が問題化しつつある現在において、S 125 型ロードヘッダを適用する機械掘削工法によってそれら環境問題の解決にも十分寄与できる。

写真は福岡地下鉄建設現場 (掘削対象岩の一軸圧縮強度 500~1,000 kg/cm²) で稼働中の MRH-S 125 型ロードヘッダである。